

2025年3月期 第1四半期決算説明資料

(2024.04.01~2024.06.30)

JBCCホールディングス株式会社
証券コード:9889(東証プライム市場 情報・通信業)

2024年7月31日

2025年3月期 第1四半期 業績概況

- 注力事業(クラウド、セキュリティ)の牽引に加え、システム分野の上振れにより、二桁増収増益
- 第2四半期は予想通りの進捗を見込む

(百万円)

	2024年3月期 第1四半期 実績	2025年3月期 第1四半期 実績	前年同期比	2025年3月期 予想	予想に対する 進捗率
売上高	16,359	18,118	+10.7%	66,500	27.2%
営業利益	1,139 (7.0%)	1,536 (8.5%)	+34.9% (+1.5pts)	5,100	30.1%
経常利益	1,231 (7.5%)	1,658 (9.2%)	+34.7% (+1.6pts)	5,200	31.9%
親会社に帰属する 四半期純利益	850 (5.2%)	1,120 (6.2%)	+31.7% (+1.0pts)	3,590	31.2%

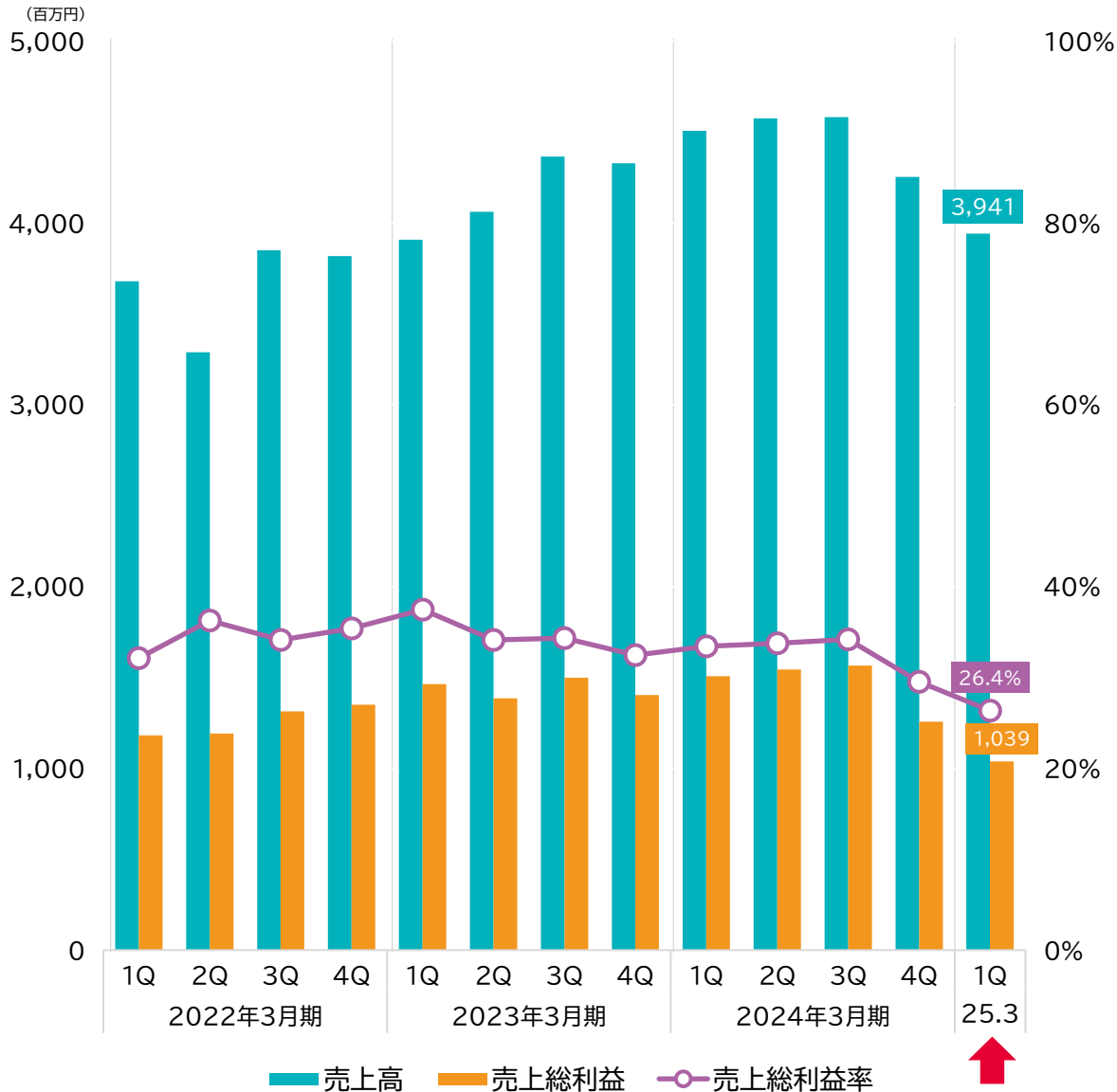
()内は利益率を示します。

2025年3月期 第1四半期 事業分野別の状況

- SI :超高速開発での前期末に発生した遅延プロジェクトへの対応に集中し、前年同期比マイナス
- サービス :注力事業であるクラウド、セキュリティが好スタート、付随する導入・移行サービスも増加し、大きく成長
- システム :お客様のシステム更改によるハードウェアの刷新が重なり、二桁成長

(百万円)

事業分野 (各事業分野に含む注力事業)	2025年3月期 第1四半期					
	売上		売上総利益		売上総利益率	
		前年同期比		前年同期比		前年同期比
情報ソリューション	17,647	+10.9%	4,738	+5.4%	26.9%	-1.4pts
SI (超高速開発)	3,941	-12.6%	1,039	-31.1%	26.4%	-7.1pts
サービス (クラウド、セキュリティ)	9,500	+23.0%	2,746	+26.7%	28.9%	+0.8pts
システム	4,205	+14.4%	953	+16.4%	22.7%	+0.4pts
製品開発製造	470	+4.5%	320	-0.2%	68.1%	-3.2pts
合計	18,118	+10.7%	5,059	+5.0%	27.9%	-1.5pts



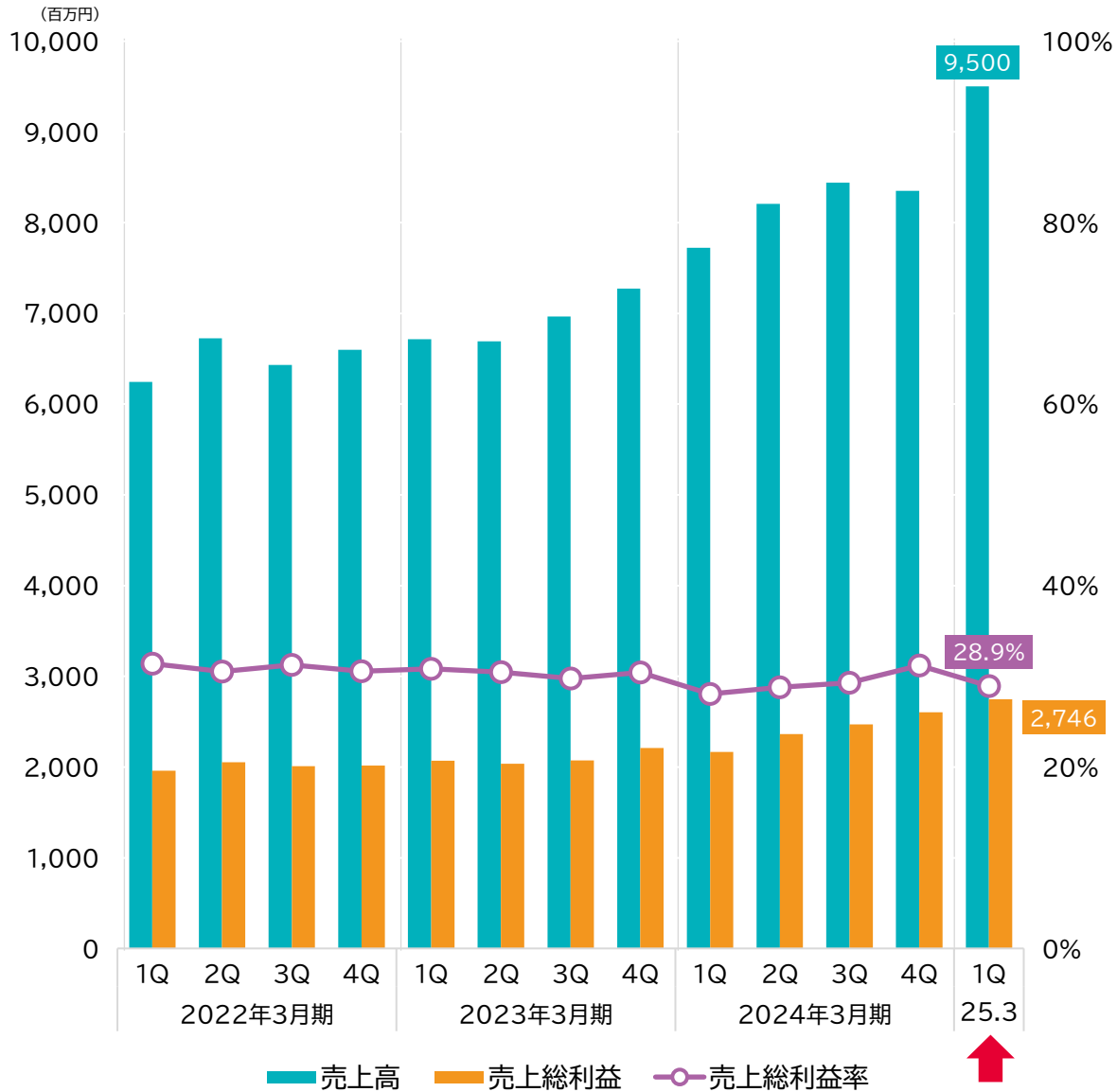
SI(システム開発)

システム開発の領域を指し、注力事業「超高速開発」を含む

- ・収益性の改善に重点を置き、マイクロセットの適用率を上げることで、品質と生産性の向上に取り組む

- 「超高速開発」へのシフトを進めており、ローコード開発への取り組みと480件を超える導入実績から、**基幹システム刷新の案件規模が大型化の傾向**
- 案件大型化に伴い課題が顕在化(業務理解や品質確保)。24.3 4Qより3件の開発プロジェクトで遅延が発生、**人的リソースを集中投入して対応を進める**
- 不採算が見込まれる案件を含め進行するプロジェクトを見直し、25.3 1Qに**将来損失見込みを含む追加コストの引き当てを実施**(超高速開発で基幹システム開発プロジェクトは複数件進行中、他プロジェクトへの影響を最小限に抑える)
- 超高速開発を含むSIの業績について、**年後半での正常化を見込む**
- 並行して、注力4業種(学習塾、建材業、鉄鋼業、食品業)の**マイクロセットサービス化を推進**、品質と生産性の向上を目指す

2025年3月期 第1四半期 事業分野別の状況 – サービス

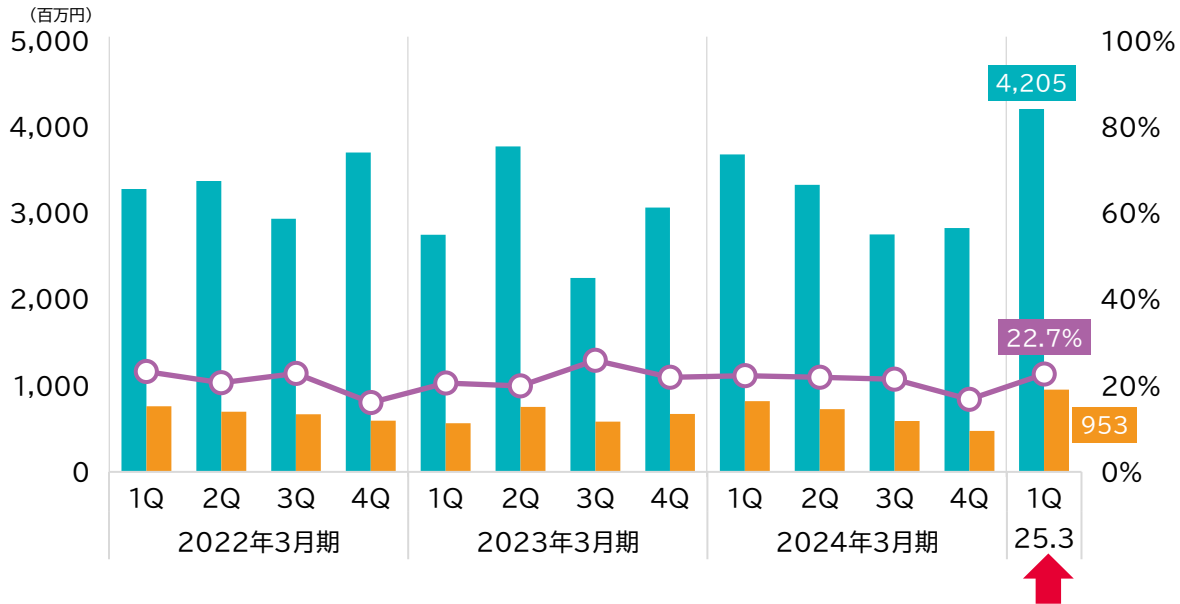


サービス

システム基盤関連やクラウドサービス、セキュリティサービスの導入・運用関連の領域を指し、注力事業「クラウド」「セキュリティ」を含む

- 「クラウド」「セキュリティ」の成長と、これに関連する構築・移行といったスポット対応により増加傾向

- クラウドは、クラウドファーストでのIT環境やシステム化の検討が進み、運用 & 最適化付きクラウドサービス「EcoOne」が好調を維持
- VMware製品(仮想化ソフトウェア)のライセンス価格高騰への対応として、VMwareを利用するオンプレミス環境からクラウドへの移行(クラウドリフト)提案の推進と、ウェビナーを中心とした積極的なWebマーケティングの実施で、クラウドの新規の見込み顧客獲得
- セキュリティは、昨今のサイバー攻撃による深刻な被害の報道を受け、お客様の関心と投資意欲の高まりで、提案機会が増加
- 好調なクラウド事業と併せて「クラウドセキュリティ」の領域が継続して伸長、大手・中堅企業向けに、社内外のIT資産の脆弱性を検知・診断する「脆弱性マネジメントサービス」の提供を開始(2024年6月)
- クラウド、セキュリティ(ストックビジネス)の力強い成長と併せ、これらに付随する導入や移行作業などのフロービジネスが増加

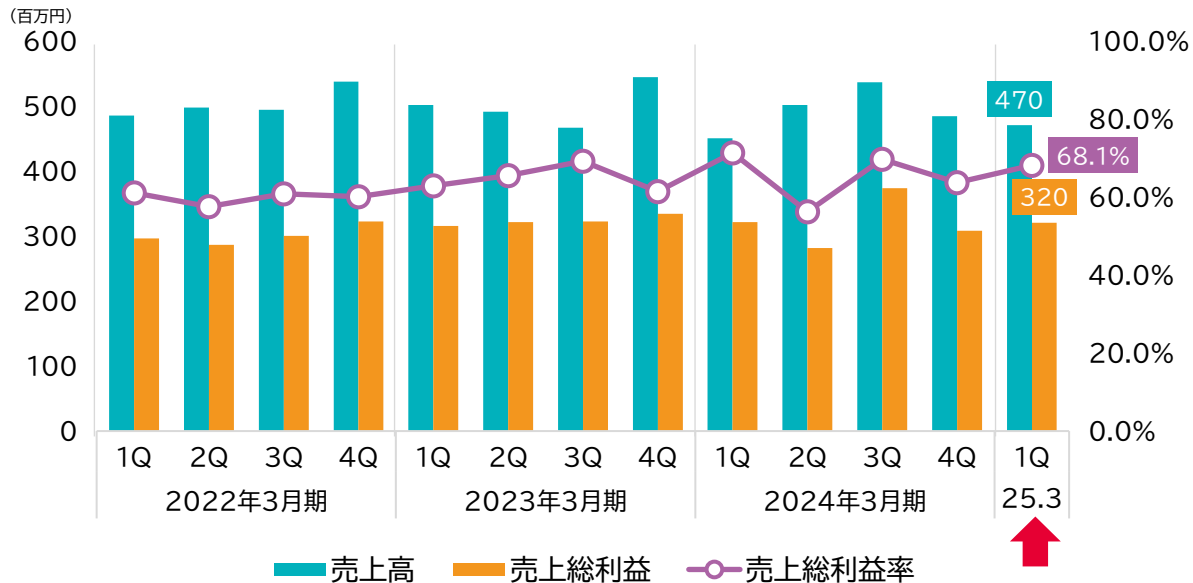


システム

サーバ、ネットワーク機器等のハードウェアや、ソフトウェア・ライセンスの販売

- ・クラウド化加速に伴いハードウェア販売が中長期的に減少傾向
- ・2024年3月期は、モダナイゼーションに伴うハードウェアの刷新やシステム更改による刷新等の需要が高まり、プラス成長

- お客様のシステム更改によるハードウェアの刷新が重なり、売上・売上総利益共に二桁成長



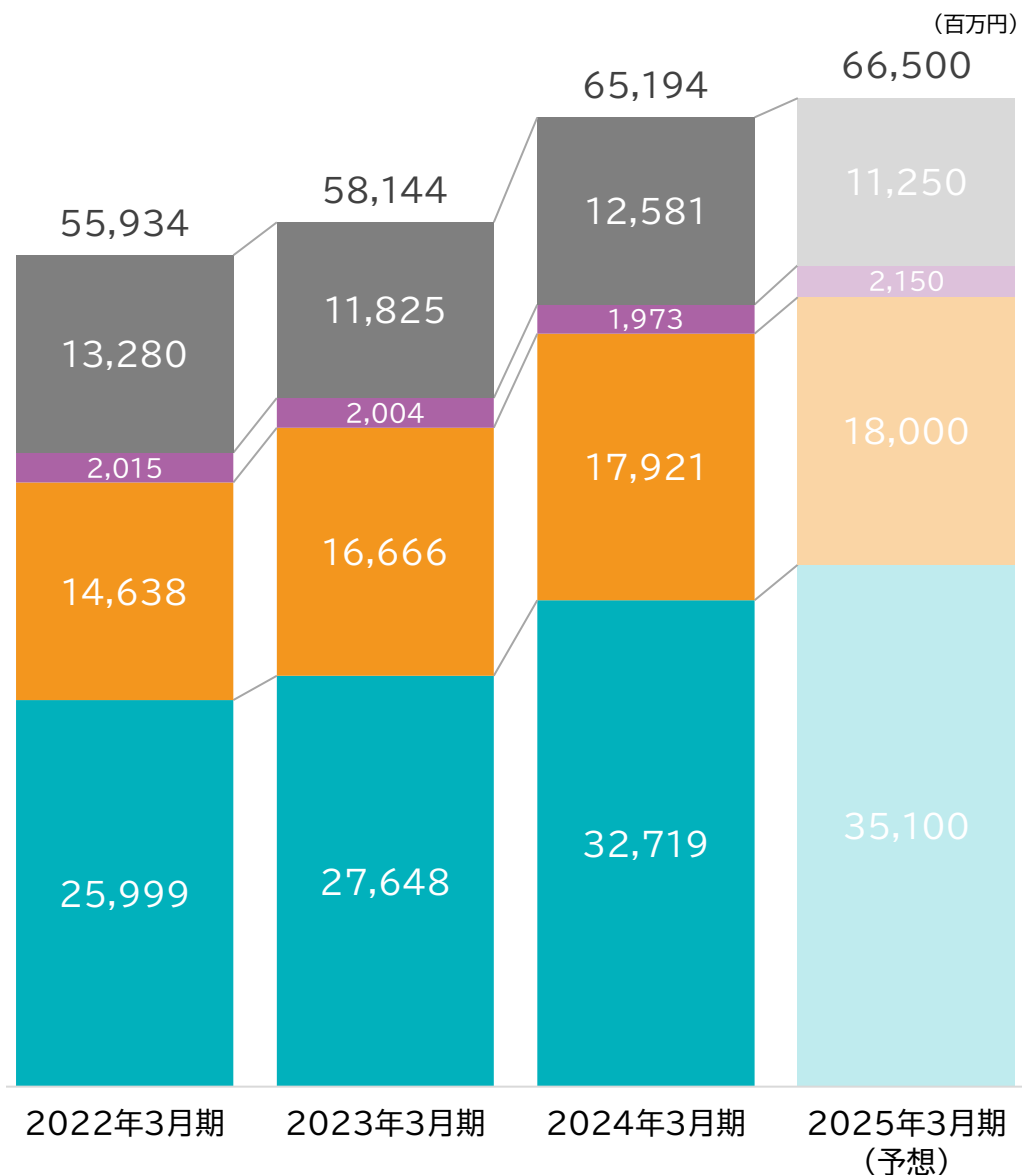
製品開発製造

独自のソフトウェアや生産管理システムの開発・提供及びプリンター等各種ハードウェアの製造・販売

- ・オリジナルソフトウェアのストック化を推進、ソフトウェア分野は成長傾向
- ・プリンタ等ハードウェア分野は減少傾向

- 主力サービスであるクラウドデータ連携基盤「Qanat Universe」(カナートユニバース)は、国内の主要な業務系SaaSにデータ連携機能を提供するビジネスを展開、連携先SaaSの拡充

- バックオフィス業務支援ソリューション「ClimberCloud」と電子契約・契約管理サービス「WAN-Sign」との連携にQanat Universe採用(2024年6月発表) <https://www.jbat.co.jp/topics/20240620.html/>



■システム

サーバ、ネットワーク機器等のハードウェアや、ソフトウェア・ライセンスの販売

- ・クラウド化加速に伴い、ハードウェア販売が中長期的に減少傾向
- ・2024年3月期は、モダナイゼーションに伴うハードウェアの刷新やシステム更改による刷新等の需要が高まり、プラス成長

■製品開発製造

独自のソフトウェアや生産管理システムの開発・提供及びプリンター等各種ハードウェアの製造・販売

- ・オリジナルソフトウェアのストック化を推進、ソフトウェア分野は成長傾向
- ・プリンタ等ハードウェア分野は減少傾向

■SI(システム開発)

システム開発の領域を指し、注力事業「超高速開発」を含む

- ・収益性の改善に重点を置き、マイクロセットの適用率を上げることで、品質と生産性の向上に取り組む

■サービス

システム基盤関連やクラウドサービス、セキュリティサービスの導入・運用関連の領域を指し、注力事業「クラウド」「セキュリティ」を含む

- ・「クラウド」「セキュリティ」の成長と、これに関連する構築・移行といったスポット対応により増加傾向

2025年3月期 第1四半期 KPIと進捗状況

- 超高速開発：前期末に発生した遅延プロジェクトへの対応を継続、プロジェクトの見直しと引き続き開発体制・スキル強化を図る
- クラウド：運用&最適化付きクラウドサービス「EcoOne」が好調を維持、四半期別過去最大の売上高・受注高
- セキュリティ：大手・中堅企業向けのサービス展開が好調で案件規模が拡大、四半期別過去最大の売上高・受注高

(百万円)

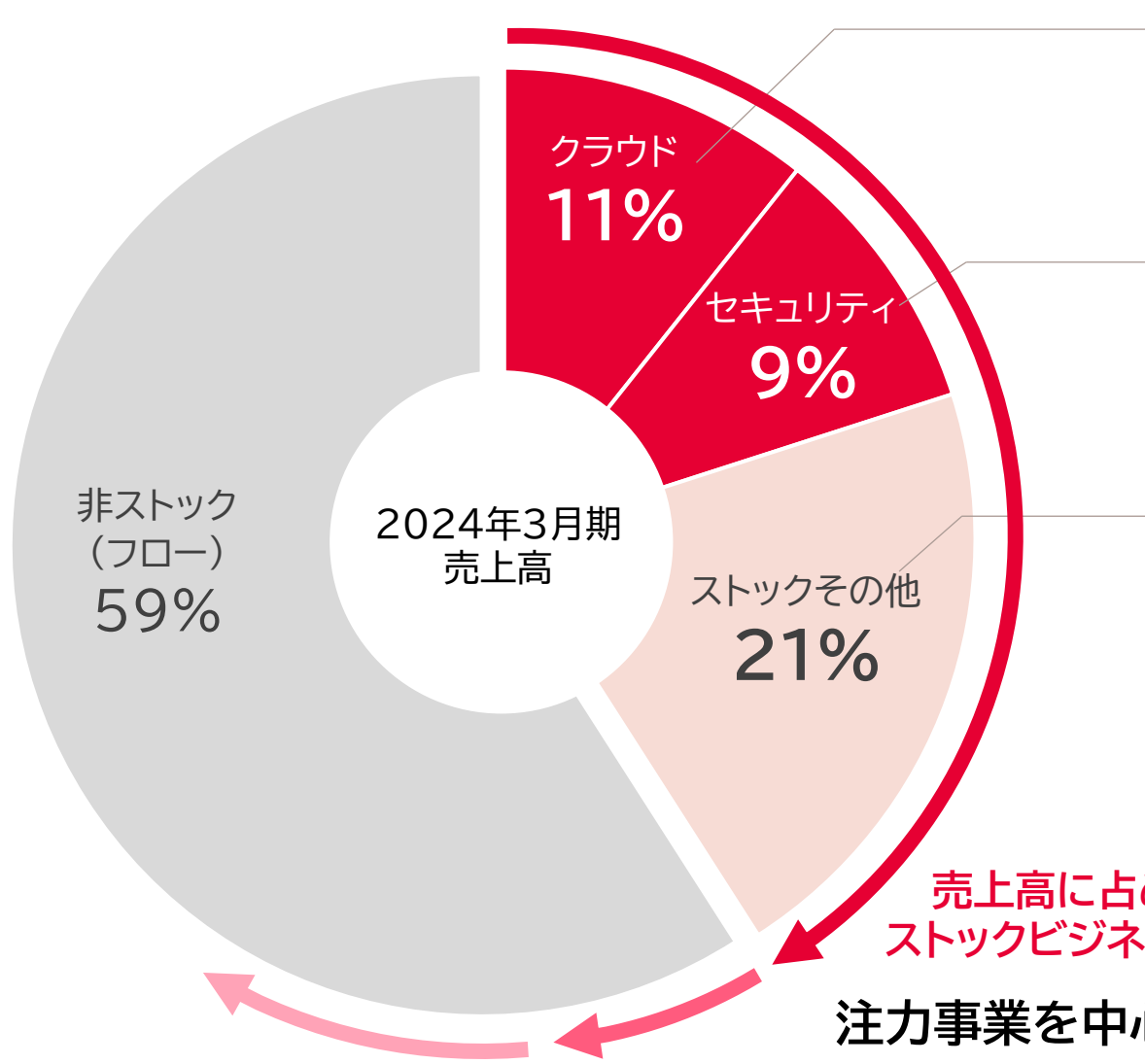
		2024年3月期 第1四半期	2025年3月期 第1四半期		2025年3月期 予想	CHALLENGE 2026 (25.3期～27.3期) 目標
		実績	実績	前年同期比		
超高速開発	売上高	1,832	1,483	-19.0%	8,655	SI全体に占める 超高速開発比率 75%
	SI全体に占める 超高速開発比率	59.3%	56.2%	-5.2pts	64.8%	
クラウド	売上高	1,555	2,309	+48.5%	10,270	売上高CAGR 36%*
	[参考] 月額受注高累計	454	740	+63.0%	955	
セキュリティ	売上高	1,208	1,663	+37.6%	7,381	売上高CAGR 30%*
	[参考] 月額受注高累計	459	633	+38.0%	777	
売上高に占める ストックビジネス割合		(2024年3月期(通期)) 41.0%	41.8%	-	46.9%	60%

ストックビジネス

※前中期経営計画最終年度2024年3月期実績との比較

補足

売上高に占めるストックビジネス割合について



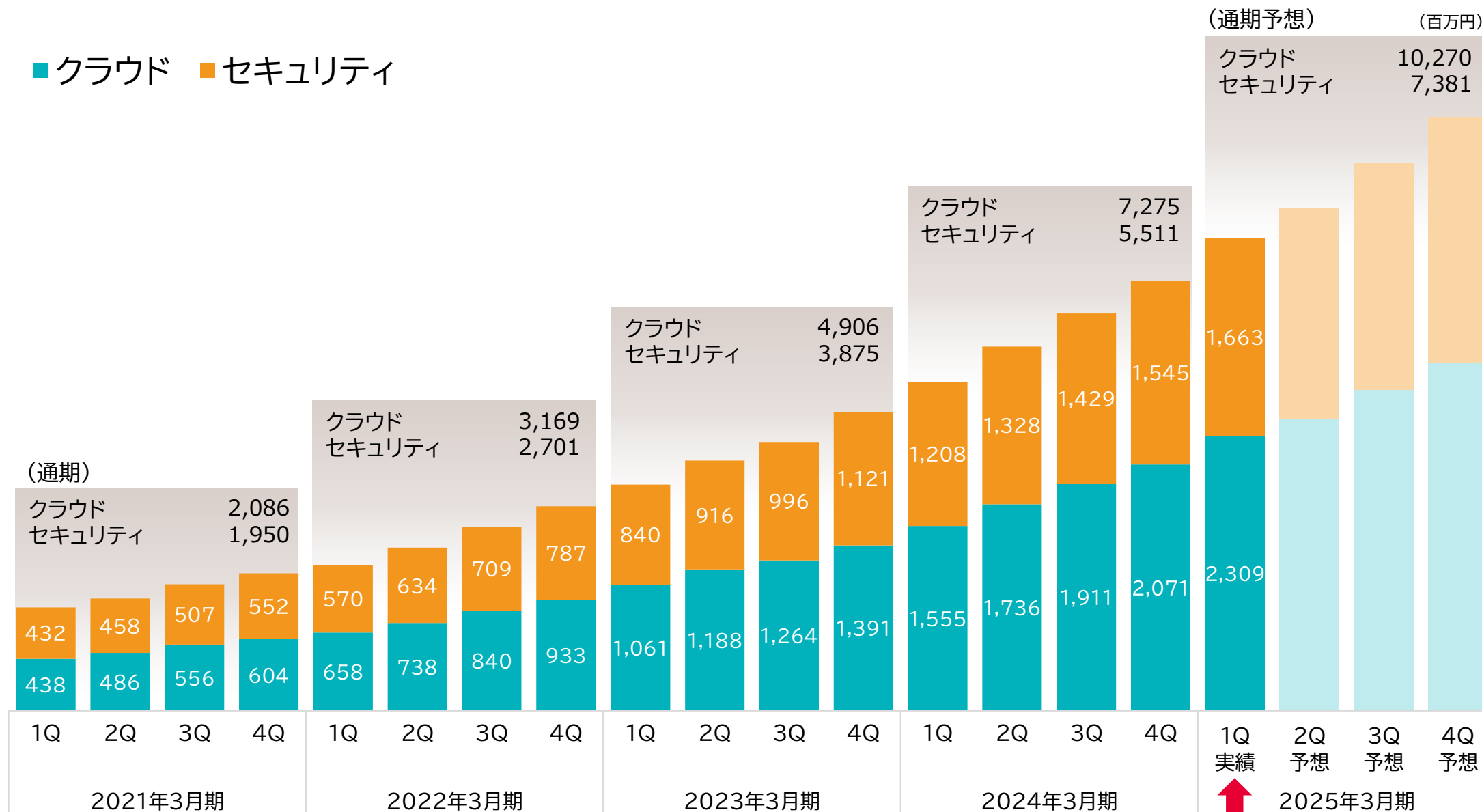
- クラウド(注力事業)**
 - マネージドサービス付きクラウドサービス
IaaS、SaaS、PaaS etc.
- セキュリティ(注力事業)**
 - 診断サービス
 - マネージドサービス付きセキュリティサービス
クラウドセキュリティ、脅威分析・対応、メール、ゲートウェイ、端末 etc.
- ストックその他**
 - 運用サービス
 - 監視サービス
 - 保守サービス
 - ヘルプデスク

売上高に占める
ストックビジネス割合

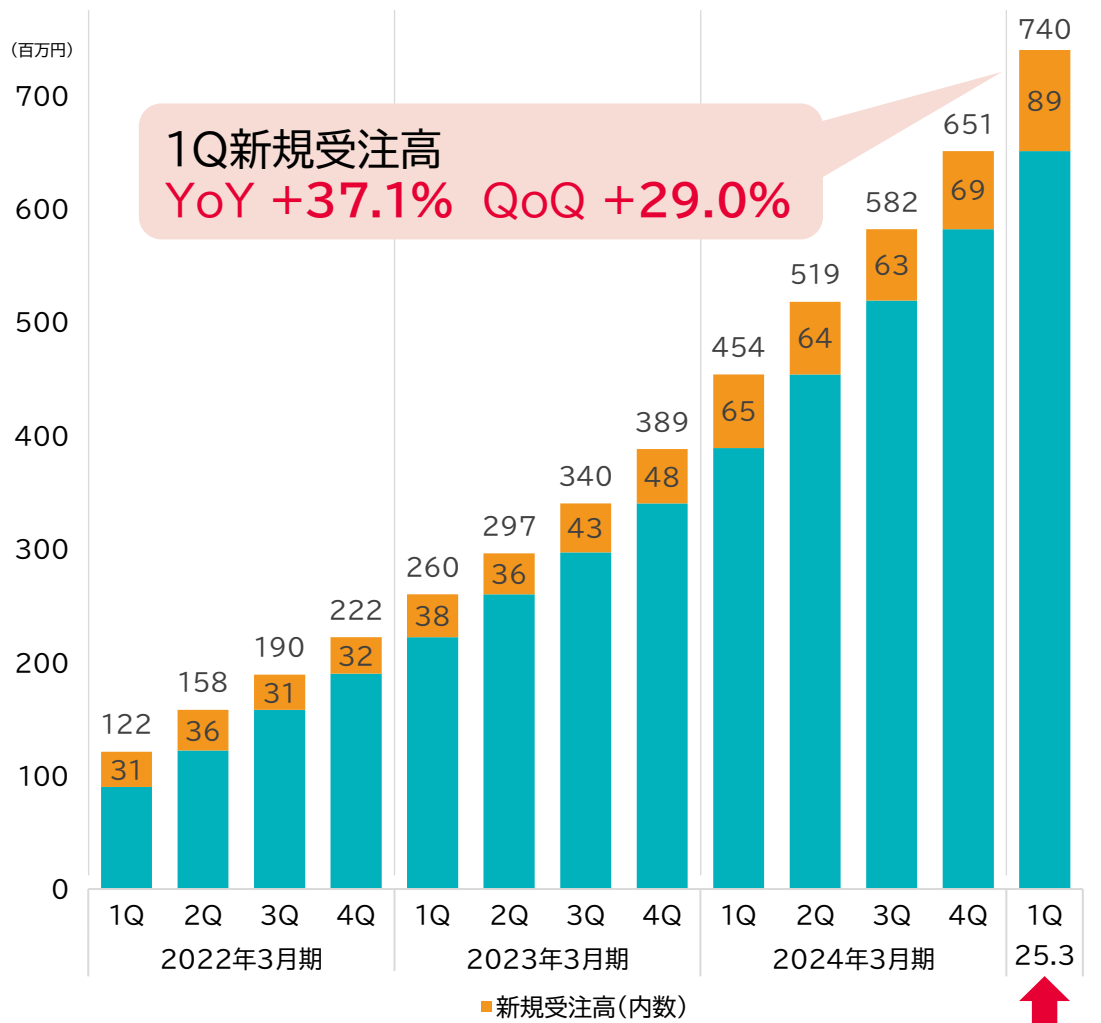


注力事業を中心に、売上高に占めるストックビジネス比率を60%に高めて
さらなる安定的な収益基盤の確立へ

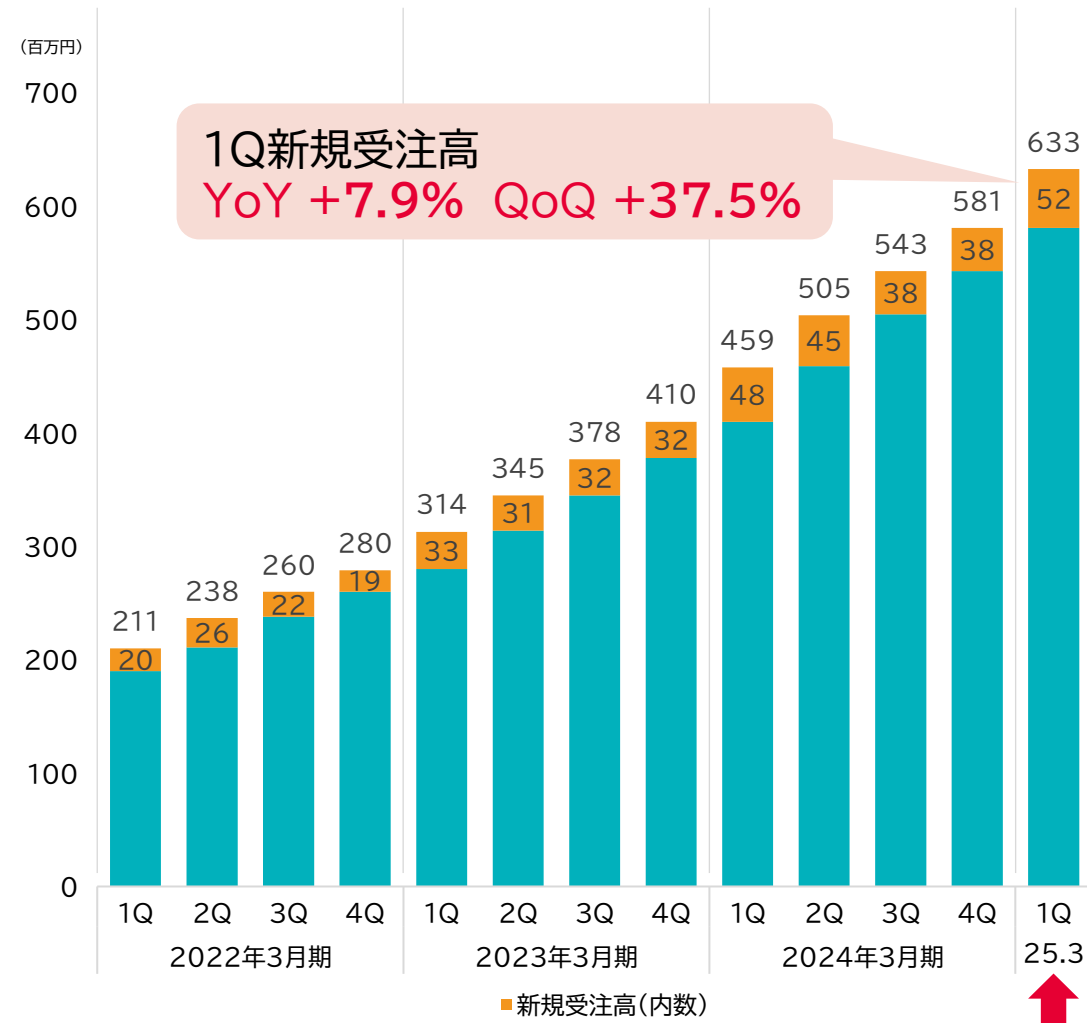
■ クラウド ■ セキュリティ



クラウド 月額受注高累計



セキュリティ 月額受注高累計



社名 : JBCCホールディングス株式会社
[東証プライム市場 情報・通信業 9889]
設立 : 1964年4月1日
資本金 : 47億13百万円
社員数 : 1,991名 [有期社員を含む連結]
事業会社 : 9社 (国内 47拠点、海外 4拠点)



当社では、認知の拡大とさらなる成長を目指し、2024年4月1日より、グループ名称を変更しました。

新しいグループ名称は「JBCCグループ」(ジェイビーシーシーグループ)です。また、これに伴い、企業グループロゴを変更しました。新しく採用した赤はこれまでよりも明るく、躍動感と新しい未来に挑戦する企業姿勢を表しています。

事業会社一覧

JBCC株式会社	全国展開
JBサービス株式会社	運用・保守 サービス
株式会社シーアイエス	中部地区
株式会社ソルネット	九州地区
JBパートナーソリューション株式会社	開発支援
JBアドバンスト・テクノロジー株式会社	オリジナル開発
佳報(上海)信息技术有限公司	上海・広州・大連
JBCC(Thailand) Co., Ltd.	バンコク
C&Cビジネスサービス株式会社	シェアードサービス

※2024年4月1日現在

JBCCホールディングス株式会社 経営企画 [e-mail : ir@jbcc.co.jp]

資料についてのご注意

- 本資料は、当社の業績及び事業戦略に関する情報の提供を目的としたものであり、当社の株式の購入や売却を勧誘するものではありません。
- 本資料に記載されている将来の動向や業績等に関する見通しは、リスクと不確定な要素を含んだ予測であり、将来の業績を保証するものではありません。実際の業績は、様々な要因により見通しとは異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。
- 本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。